

藍住町 議会だより

第35号

平成15年11月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1

電話 (088) 637-3127

FAX (088) 637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp/gikai/index.htm>



創作エイサー (藍 LOVE フェスティバル)

CONTENTS

定例会	p 2	文教常任委員会・町民の声	p11
一般質問	p 4	議会のうごき	p12

9月 定例会

9月定例会が9月10日から19日までの10日間の会期で開会された。

平成15年度一般会計補正予算など14議案と議員提案の1議案を原案のとおり可決した。

議員提案の事務の調査に関する決議（地方自治法第100条第1項の規定による県営地盤沈下対策事業の事務に関する調査）については起立採決の結果、否決した。

町長提案

- 平成14年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）歳入歳出決算の認定について ……………原案可決
- 平成14年度藍住町特別会計（老人保健事業）歳入歳出決算の認定について ……………原案可決
- 平成14年度藍住町特別会計（介護保険事業）歳入歳出決算の認定について ……………原案可決
- 平成14年度藍住町特別会計（藍寿苑）歳入歳出決算の認定について ……………原案可決
- 平成14年度藍住町特別会計（住宅新築資金等貸付事業）歳入歳出決算の認定について ……………原案可決
- 平成14年度藍住町特別会計（水道事業）歳入歳出決算の認定について ……………原案可決
- 平成14年度藍住町特別会計（下水道事業）歳入歳出決算の認定について ……………原案可決
- 平成14年度板野郡農業共済事務組合農業共済事業歳入歳出決算の認定について ……………原案可決
- 平成15年度藍住町一般会計補正予算について ……………原案可決
- 平成15年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）補正予算について ……………原案可決
- 平成15年度藍住町特別会計（介護保険事業）補正予算について ……………原案可決
- 藍住町が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の制定について……………原案可決
- 土地取得について……………原案可決
- 固定資産評価審査委員会委員選任の同意について……………住田義典

議員提案

- 事務の調査に関する決議について……………否 決
- 藍住町ポイ捨て等及び犬のふん害の防止に関する条例の制定について……………原案可決

町からの 主な報告

◆第16回全国健康福祉 祭徳島大会ゲートボ ール交流大会

大会の基本コンセプトである「元気ともてなし」については、開始式に東小学校5・6年生による阿波踊りを披露し、東中学校からはプラカード保持者として入場行進に参加、藍住中学校吹奏楽部が開会式の演奏を担当する。ふれあい接待所では人參ケーキ、そば米汁など地元特産品を取り入れた無料接待を行う。

◆住民基本台帳ネット ワークシステム

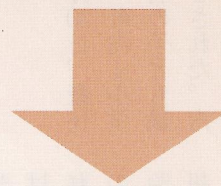
住民基本台帳ネットワークシステムについては、第2次サービスが8月25日からスタート。住民基本台帳カードの交付・住民票の写しの広域交付・転入転出の簡素化が始まり、順調に稼働している。



喫煙コーナー（藍住町合同庁舎）
11月1日より庁舎内分煙になりました。

一般会計
補正予算

1億600万円増額



総額

88億7,300万円

主
な
補
正

総務費

受動喫煙の防止対策として、喫煙コーナーの機器購入費等に100万円。

土木費

町道竜池猪熊線の土地購入費に1,470万円。町営住宅の修繕費に670万円。

教育費

自治会集会所や遊具の修理に対する補助金に212万円。

民生費

障害者生活支援事業の広域実施に伴う委託料に約810万円。

農林水産業費

新作物研究会の園芸ハウス建設補助金に659万円。
猪熊龍池線の土地購入費に5,400万円。

◆ 陳 情 ◆

▼ 陳情書

陳情者 藍住町 吉田昭二 藍住町 松浦伊三郎
▼「北朝鮮による日本人拉致問題等」の学校教育現場における啓発について
陳情者 北朝鮮による日本人拉致問題の解決を目指す
徳島ネットワーク 会長 丸山 太

平成15年 第4回臨時会

8月22日の臨時会において、藍住町公共下水道中央・中央2号幹線管渠工事の請負契約の締結について審議し、次のとおり可決した。

請負契約額 3億765万円

請負業者 東洋建設(株)徳島営業所

平成14年度 特別会計決算額

単位：万円(1万円未満四捨五入)

事業	歳入	歳出
国民健康保険事業	19億1,848	17億2,652
老人保健事業	19億4,556	19億3,018
介護保険事業	12億9,166	12億9,046
藍寿苑	3億2,626	2億9,900
住宅新築資金等貸付事業	1,163	1,163
水道事業(収益的収支)	4億6,717	3億3,987
水道事業(資本的収支)	3,760	1億9,443
下水道事業	3億9,914	3億8,276

町政ここが聞きたい

議員6人が一般質問



永浜 茂樹 議員

子ども議会対応について

平成12年11月30日、藍住町議会議場で、町内4小学校の代表、23名の子ども議員が一般質問をされた。内容は学校施設の充実、トイレの改善、道路整備、

「バリアフリー」、学区制度、服装問題等たくさん質問されたが、年月が経過

している今日、行政として当然子ども議会の質問内容は引き継がれていると思われが、現在に至る迄、その後どれだけ質問に対し議論され対応、実行されたか、報告を。

子供達の思いを生かせるよう努力する

現在、北小学校は改

修及び耐震工事に合わせ、1階外側、2階のトイレを改修中である。学校施設の老朽化が進んでおり、傷みの大きい所から改善を図っていききたい。

10月から江ノ口新居須線等の歩道と車道の段差を解消していく予定。今後も安全な道路管理に努める。

高校入試の新選抜制度の対応については、本町の中学校に対し生徒や保護者へのきめ細かい指導と助言を指示している。

各学校の標準服の着用については、児童生徒の安全対策が求めら

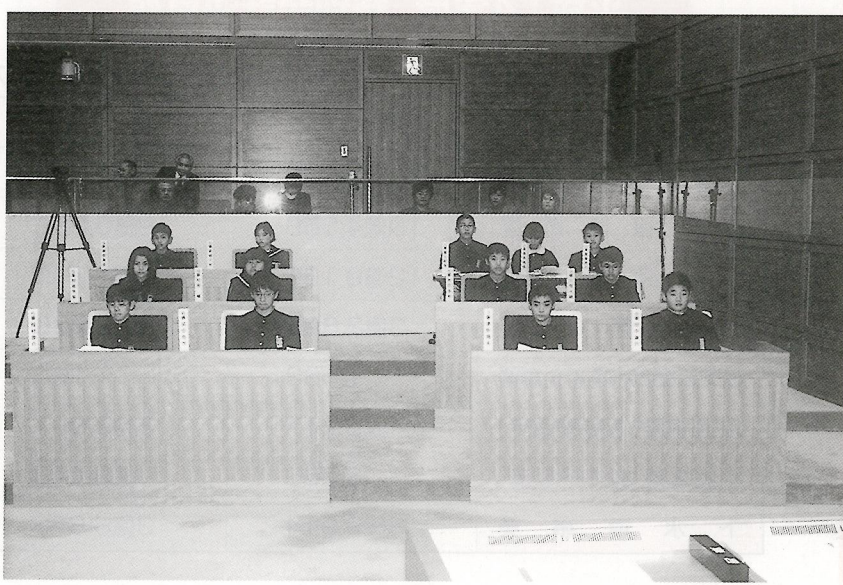
れている状況であり、万一の事件事故の早期解決に繋がることも考えられるので、慎重な検討が必要と考える。

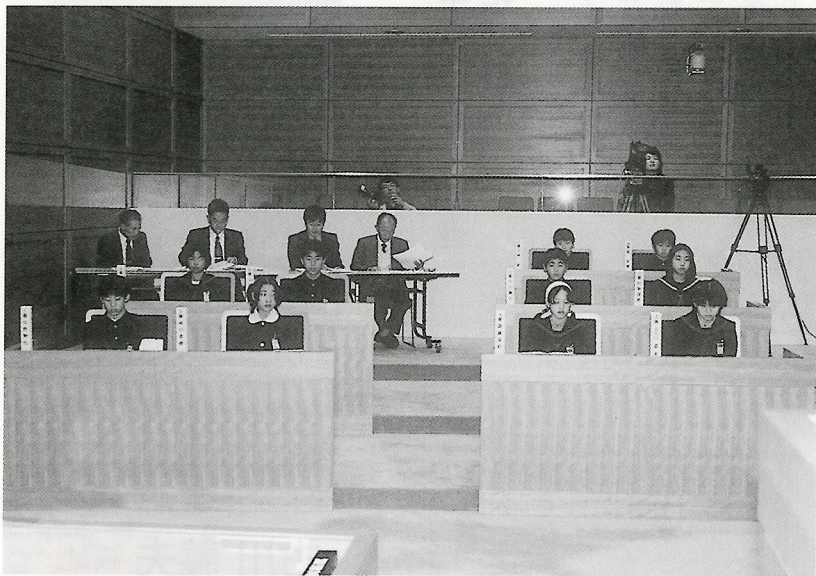
環境について

町内のポイ捨て、犬のふん害防止、人口増加に伴うゴミ処理問題等、今後の取り組み姿勢は。

ゴミ減量化に努める

ポイ捨て、犬のふん害については町広報等により訴えてきたが、依然として後を絶たな





い現状である。町議会でも厚生常任委員会等で生活環境を整備する為の施策等を積極的に協議して頂いており、今後具体的な取り組みを行いたい。

ゴミ処理についてはリサイクルに取り組み減量化に努める。

福祉について

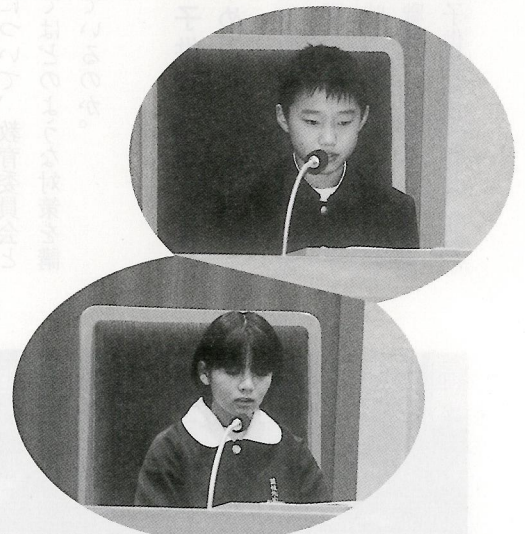
高齢者は年金が減り税金の増額、医療費の値上げ等生活は苦しい現状である。各市町村とも『高齢者生きがい対策予防事業』に真剣に取り組みまれているが、県下で一番高い介護保険料の藍住町。その後、具体的な対策は。そして結果、報告は。

生き生きサロンを充実

6月より毎月1回、老人憩の家と老人ルームで健康体操や保健師等による血圧測定、健康相談等を行う生き生きサロンを実施。参加された方々は楽しみにされており、今後も本事業を充実させていきたい。

介護予防の提案

高齢者健康保持の為、休耕田を利用して『福祉農園』への取り組み、町有地の提供、農地銀行対策、ボランティア指導での『野菜



平成12年11月30日開催 藍住町子ども議会

講演を計画したい

健康づくりや病気の予防に効果があると言われる薬草を町民によ

防災について

り身近に理解して頂く為、講演も計画したい。

全国どこでいつ起きるか分からない地震対策、管理体制として、町職員の災害訓練、町内全児童生徒の避難訓練は出来ているのか。また食糧保持対策はどうか。

地震、火災の場合の防護策として町内には防火水槽が46ヶ所設置され、商工会発行のコミュニティタウンあいずみの地図に標示されているが、小さく分りにくい。町内7地区協単位程度に大きく分け、『防災マップ』で標示し各家庭の見易い場所に張り、緊急時の場合の処置に備えてはどうか。また防火水槽の全箇所にも『カンバンの設置』を。毎年5月末の藍住町一斉清掃の日に東部消防組合地区消防分団員に協力願ひ、消火栓、防火水槽での放水指導訓練をされてはどうか。

『災害は起きる前の対策が必要である』今、国会では三位一体改革を始め地方は大変厳しい状況である。

幼・小・中学校では避難訓練を実施

藍寿苑や町関係施設では通信訓練や情報伝達訓練等を実施。町の災害対策本部では、今後、非常連絡や招集の訓練も実施したい。

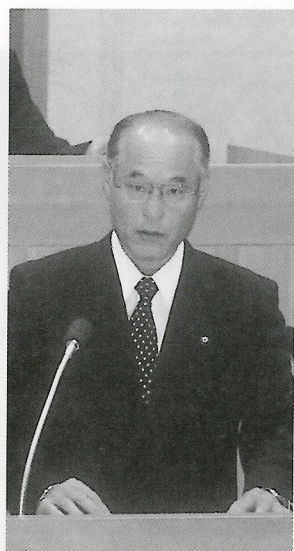
食糧の備蓄については、現在十分な備蓄は出来ていない。町内の販売店と緊急時の物資購入の協定を結ぶことで食糧等の確保に努めたい。

防災マップに防火水槽の位置を標示することについては、次回の作成時に検討したい。

防火水槽の標示看板は主要な所から設置を進めたい。

消火栓を利用した放水訓練は水道水が濁る恐れがあり難しい面があるが、ホースを使つての訓練等は出来るし考える。

町長、理事者各位には、町民のため、町政発展の為に公平で、タイムリーな努力を期待したい。



古川 義夫 議員

学校の安全管理について

学校への不審者侵入による安全管理対策と危機管理体制について伺う。

子を持つ親として、一番安全だと思われる学校内で理不尽な凶行によって尊い生命が奪われた凶悪事件が大阪教育大付属池田小学校で発生している。

本町の学校における不審者侵入に対する安全管理対策と危機管理体制についてどのような対策を講じているのか。

不審者侵入訓練も必要

施設面では藍住中学

ていない実態があるかと思われる。早急に組織図の作成のみならず、実際子供の安全確保が図られるように指導していく。

児童・生徒の登下校対策について

児童、生徒の登下校時の犯罪抑止対策について伺う。最近、児童、生徒を狙った犯罪が増加しているのは、残念ながら確かなことである。いつ起こるか分からない子どもの危険を防ぐ手立てについて、教育委員会としてはどのような対策を講じているのか。

子供達の安全に努めている

基本的に集団登校登園を行っており、この時間帯には保護者や教職員による立哨を行い、子供達の登校時の安全

に努めてきた。下校時には子供が一人で下校することのないように常に複数で近くまで帰るように指導している。また学校・幼稚園では、不審者からの声かけや誘いに乗らないように指導すると共に、各家庭に文書を配

布し、事故発生の防止を呼びかけている。全児童に子ども110番の家を掲載した地図を配布し、何か起こった時に大声を出して駆け込めるように指導している。



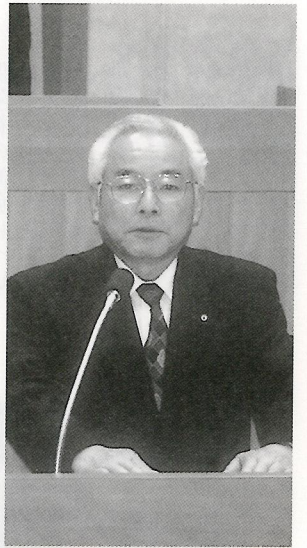
避難訓練 (藍住東幼稚園)

心のノートの活用について

規範意識や物事善悪の判断力の育成など、道徳的な価値を児童・生徒自らが理解し考えるきっかけにと文部科学省から、全小・中学生に配布された『心のノート』新しいタイプの教材を、学校現場でどのように活用されているのか。

学校と家庭との連携に役立っている

心のノートは子供の発達に応じて命の大切さ、道徳心を養い、心豊かな子供の育成のために活用されている。本町でも小・中学校の生徒に配布し、学校においては道徳の時間を中心に、総合的学習や特別活動の時間、朝夕の会において活用している。



西谷 修 議員

行政改革について

民間企業並みのコスト意識を行政側が持つことで、行政経費はまだまだ大幅削減できる、こう思わせる地方の色々な取り組みが注目されている。日経新聞の連載では、住民が工事費を一部自己負担し、実際の工事にも参加する村独自の「道直し」事業で、建設費を国基準の5分の1に削減した長野県栄村や、一風変わった「1.5車線道路」建設で事業費を2車線の3分の1に削減した高知県の取り組みなどが紹介されている。

学校や運動場などの警備業務委託を指名競争入札に切り替え、約6割（年6、151万円）ものコスト削減

うやく行政も取り組み始めたわけで、これに国の規制緩和などがうまくかみ合えば、地域の知恵が大きく生かせる。
行政が民間企業並みのコスト意識を持つことで、大幅に経費を削減できる。

取り組みめる事から 取り組む

減となった千葉県柏市や、総費用の45%削減が見込まれるPFI（民間主導の公共事業）方式による岡山市の温水プール建設などの話題を取り上げてきた。民間なら当たり前のことに、よ

行政が民間企業並みのコスト意識を持つことで大幅に経費を削減



証明書自動交付機（藍住町合同庁舎）

できるといふ、この提案と当町の目指す方向はまさに同じである。来年度から改革に確実に着手するため、具体的取り組み事項について職員に理解を求めた所である。

行政評価システムについて

財源を有効に活用し、効果的で効率的な行政運営を推進するために、行政評価システムを導入すべきではないか。

同システムは、総合計画に掲げられた施策や、それを具体化するための事業を対象に、コストや実績などの基礎情報を数値化した上で、必要性・有効性・効率性・公平性について評価し、その結果を予算に反映させる。これによって財源を効果的に投入することができ、他、職員の目的意識やコスト意識を高めることが期待されるのではないかと。

研究していく

行政評価を地方自治本来の目的達成のための一つの道具として捉え、職員の意識改革を図ることは大変有効であり、本町の実情に合った行政評価システムを研究し、導入に向けて検討していきたい。

住基ネットについて

住民基本台帳ネットワークシステム（住基ネット）が、8月25日から本格稼働した。電子政府、電子自治体の実現に向けた第一歩として、普及、発展に期待したい。

住基ネットは、市町村が行う各種行政サービスの基礎となる住民基本台帳（住民票の集まり）のうち、氏名・住所・性別・生年月日の4情報と各人に付けた11ケタの番号（住民票コード）を独自のネットワークに乗

せ、全国共通で本人確認ができるシステムである。昨年8月にスタートし、

既にパスポート申請時の住民票の写しの提出や共済年金の現況届の提出が不要になる等、行政手続きの簡略化が進んでいる。今回の本格稼働に併せ、各市区町村は500円程度の発行手数料で住民基本台帳カード（住基カード）を希望する住民に交付する。また、全国どこの市区町村でも住民票の写しを取得できるようになった他、住基カードがあれば転入転出手続きが簡素化されることになった。住基カードを使って将来に対する行政サービスの考えはあるのか。

独自利用の予定はない

今後、インターネットにより行政機関への各種申請、届け出が出来る予定。住基カードの独自利用については住民票、印鑑証明の発行に自動交付機を導入しており、今のところは考えていない。



森 たけし 議員

介護保険

町民の声は県下一高い保険料の引き下げを求めている。借入金の返済期間を9年に延長できる特例措置を活用し、一般会計からの繰り入れも考え、引き下げを求め。高齢者の76%は住民税非課税者である。低所得者対策を確立する事は保険存続の不可欠な条件である。保険料、利用料の減免制度の確立を。

国の定めた減免基準により実施したい

保険料の減免については、介護保険法により所得段階別に保険料が決定されており、所得の低い方への配慮は行っていると考える。利用料については所得に応じて減免を実施し

ている。

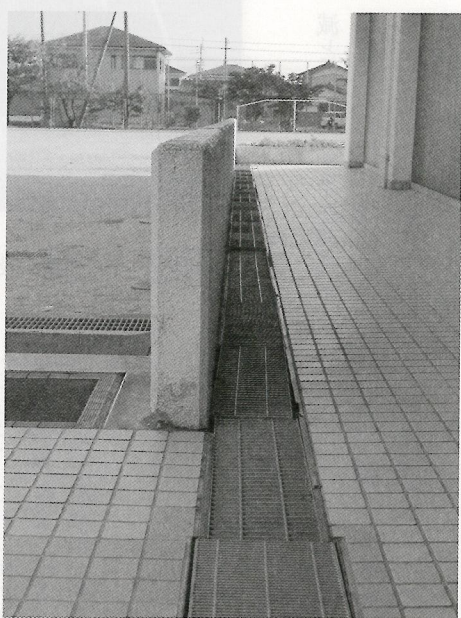
国民健康保険

国保制度は住民の命と健康を守るのが本来の機能である。国保税の滞納がある」と短期証が発行され、一年が過ぎると「資格証明書」

が発行されるが、窓口で全額医療費の支払いとなる。保険料の支払えない人に医療費全額支払いは不可能。資格証、短期証発行の実態と対応はどのようか。公費医療の対象者は適用除外しているのか、特別の事情をどう対応しているのか。

特別な事情には国保証を交付

8月末現在の資格証交付は47世帯、短期保険証交付は203世帯。被保険者と納税の話し合いの機会を持ち、特別な事情があれば国保証を交付している。



改修予定の南小学校のグレーチング

教育

少人数学級の取り組み状況と自治体独自の考えは。学校図書館の司書教諭の配置は。子供の読書に関する基本計画は出来ているのか。図書費を増額する考えは。学校五日制で子供が安心して過ごせる居場所の確保の考えは。障害を持つ子供の支援は。不登校児童の対策状況

司書教諭は配置済み

少人数学級については、本年度小学一年生に35人学級を導入。来年度は小学二年生までを県独自の施策として予定している。子供の読書に関する基本計画は、県教委の基本推進計画が出来てから、本町の読書活動推進計画の策定に入りたい。図書費については、地方交付税の学校図書費配当分を充当。子供の居場所につい

ては、児童館の開放により地域の人々とのふれ合いや諸活動を通して子供達の交流や心の居場所になっていると考える。

障害を持つ子供の支援については、政府で検討されている段階。不登校児童の対応についてはキャロツ子学級でケアしている。

耐震化対策

学校ウォッチングの要望の施設改善の進捗状況は。学校施設の耐震化対策の具体的な計画は。避難所に指定されている箇所の耐震対策は出来ているのか。

災害時の対策は。(食料、飲料水等々の確保)

耐震性の確保は重要

学校施設の改善については現在、東小学校体育館の排煙窓の補修、南小学校のグレーチングの改修を年次的に取り組み中である。

耐震化対策については本年度、北小学校管理棟の改修補強工事を行っており、藍住中学校の耐震診断も予定している。

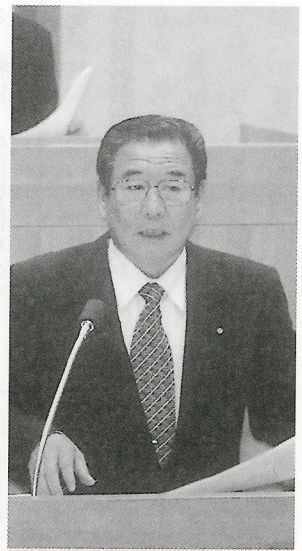
避難所指定施設の内、耐震性のある施設は6施設。残りの施設については厳しい財政状況であり、早急な耐震対応は厳しいと考える。乾パン・毛布等の備蓄が十分でないため、緊急時の対策についてよりよい方法を検討し、取り組んでいきたい。

多目的集会場

無料で使える多目的の集会場の指定を。

施設の利用料を検討

非常に厳しい財政事情であり、今まで無料であった町有施設の利用料を検討している。



喜田敏夫 議員

公約実現はできるのか

石川町長が多くの「公約」を掲げて町長に就任して2年が経った。任期の折り返し点に立ったことになる。公約実現に向けた取り組みはどの程度進んでいるか。

- ① 地方分権の実現した町づくり
 - ② 財政再建と公共事業の見直し
 - ③ 生活環境の整備の充実
 - ④ 心の教育を重視
 - ⑤ 福祉の充実
 - ⑥ 能率的な行政運営
 - ⑦ 産業を育成し活力ある町づくり
- の各々の公約の取り組みの報告を求める。

厳しい財政状況を打破

掲げた公約を一つ一つ解決し、厳しい財政状況の下で自立を求められていることが、地方分権の実現した町づくりに結びついていくと考える。

借入金の返済行程表については、平成15年度予算においては当年度の起債額が償還額を上回らないようにし、徹底した節約に取り組み、職員駐車場の料金制度も設けた。公共事業の見直しの内、入札制度については予定価格の公表により、落札価格の率が低くなり当初の目的を達成した。

生活環境の整備については、平成14年12月から公共下水道に着手した。ゴミ問題については新たな広域行政を探り、当面は西クリーンステーションを定期的に補修修理等しながら延命策を講じていく。町道整備については役場北側の改良工事が終了し、東中学校の南側道路も今秋完成。

心の教育については道徳の時間を中心に、総合的学習の時間等において実施。それぞれの学校で特色ある取り組みを行っている。

福祉の充実についてはファミリー・サポート・センターの設置や0歳児保育を拡充。

能率的な行政運営については、庁内LAN及び一人1台パソコンの整備をした。

産業の育成、活力ある町づくりには企業誘致も必要不可欠。コー

ナン商事の出店計画は雇用創出にも繋がる事でもあり、町としても努力していく。

県耕地課は約束違反？

県営地盤沈下対策事業（中島土地改良区）は国55%、県39%、藍住町が6%の負担割合で総事業費45億円の公共事業である。多くの問題点を残した事業であるが、次の3点に対し答弁を求める。

- ① 幹線水路上は遊歩道などの有効利用ができると言っていたが、有効利用出来る状態ではない。
- ② とりわけ東幹線の旧県道沿いは車が対抗できない状態であるから、早急に自転車道として考えたいと言っていたが、これも放置されたままになっている。
- ③ 支線の排水についても側溝などで機能回復する約束であったのに放置されたままである。



勝瑞駅へ向かう道路

県と協議したい

幹線水路上部の有効利用について、勝瑞地区は道路排水の関係で未施工である。歩道の段差については、上に車が乗らない為の施設であり、やむを得ない。

勝瑞地区の県道から踏切の部分は徳島北高

校の通学路でもあり、出来るだけ早く改善するよう県へ要望する。

支線排水路で用排水を兼ねている所については、県としては機能回復が出来ている。道路の雨水排水が何カ所か出来ていないことについては、県は再度協議したい。



西岡 恵子 議員

子供の健康について

高齢化の一方で、少子化が大きな問題となっており、将来を担う子供達の健全な発育・発達を図る事は非常に重要な課題と考ええる。現在学校で子供達への健康管理はどのようにしているのか。特に生活習慣病へのスライドが予測されるものについて尋ねる。

2000年4月にスタートした「健康日本21」においても小児期は生活習慣病が形成される時期で最も予防効果が高いと言われている。特に、生活習慣病の予備軍とも言われている小児肥満対策についての取り組みが必要と思われるかが。各関係機関との連携の必要性も「健康日本21」で言われている具体的対策についても尋ねる。

肥満にならないよ うな食事を指導

学校の検診により体重の重い児童に対し、医者による検査及び指導を実施し、保健センターにおいても個別に栄養指導を実施している。今後とも子供の栄養管理について、保健センター並びに学校との連携を図り進めていきたい。

耐震構造改築事業について

北小学校に続く耐震構造改築の今後の計画について尋ねる。各教育施設はいずれも災害時の避難場所となっている。町民の生命・財産を守る為にも早急な対応が必要と考えるかが。また、北小学校での改修工

事で図書室の一階への移動があり、地域に開かれた学校の核となるよう期待するが、他の学校においての計画はどうか。財政が厳しいと言われるが、未来を担う子供達への対応は優先すべきと考える。

耐震計画を検討

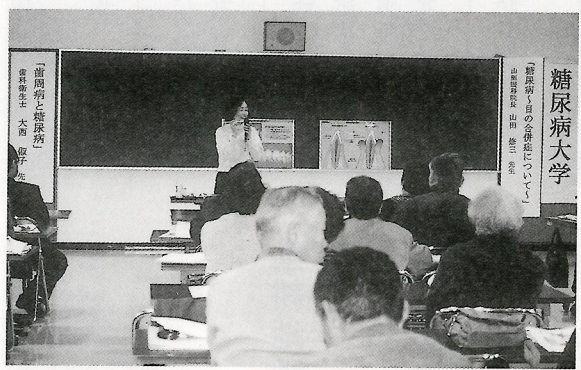
学校施設の耐震性を確保する事は大変重要であり、財政状況を勘案しながら取り組みたい。今後、学校施設の改修・耐震工事にあたっては可能であれば開放施設としても考えていきたい。

町民の健康について

徳島県の糖尿病死亡率はここ数年全国ワースト1位、本町の現状と対策はどうか。生活習慣病の予防は医療費の増大傾向への歯止めにもなると考える。具体的取り組みについて尋ねる。

糖尿病予防に努める

糖尿病による年齢調整死亡率は9.9で板野郡内で5番目。現在、糖尿病大学を実施し、糖尿病に対する意識改革や発症者に個別面接、



糖尿病大学 (保健センター)

相談を実施している。

住環境について

町営住宅の入居率、退居された後の補修及び改修状況、また今後の町営住宅計画について尋ねる。今後の住宅計画の中で高齢者住宅、障害者住宅への取り組みはどのように考えているのか。県営住宅においては4~5年前からバリアフリー住宅を目指し、現在20%強と聞いている。福祉面から考えた町の住宅施策について尋ねる。

新設予定はない

入居率は政策空き家を除いてほぼ100%に近い状態。空きが出た時点で部分補修をし、入居募集している。

街灯について

段々と日も短くなり、子供達の下校時も薄暗くなってきた。街灯の設置状況、

管理について尋ねる。安全な通行確保の為にも適切な街灯設置が必要と考える。街灯の間隔が長い所も見られる。総点検してはどうか。

防犯上総点検を検討

学校からの街灯要望には出来るだけ設置している。管理は契約業者が修理等を行う。

看板撤去の経緯について

6月議会での質問の際、安全な通行の為「町内の商業PR看板の点検」に対し、その後迅速な対応で歩道上の看板撤去がされ、特に学校周辺がすっきりした。経緯説明を求めらる。

今後も指導していく

現地調査を行い、8月の町広報で啓発をした。その後警告書を貼ったのが224個。9月から撤去を行ったのが102個。

問 質 体 総

福祉センターの障害者用トイレと町民会館物置の雨漏りについて、どのように対応したのか。

福祉センターの障害者用トイレについては、トイレ上部の雨漏り箇所を確認し掃除を行い、専門の業者から現在見積もりを頂いているので、早い段階で修繕したい。

町民会館の倉庫の中に入っていた机・椅子が雨漏りにより腐敗しかけていたので、管理している社会福祉協議会の方で清掃し、臭い等がない様に対応した。

水道会計の決算書によると、有収率は90・07%となっている。漏水箇所の修理に努めているのに、まだ10%もの漏水があるということだが。

漏水調査を行い、破損箇所については補修で対応している。また、道路表面に既に水漏れが出ている箇所についても早急に補修対応している。

文教常任委員会

8月18日及び9月8日、藍住北小学校の管理棟の改修並びに耐震補強工事の進捗状況を調査するため、文教常任委員会を開催した。

現場視察を行い、手直しが必要な箇所等について改善するよう指導した。

学校施設の耐震問題については児童生徒の学舎である事はもちろん、貴重な地域の防災拠点である事から、安全確保が強く求められるのは当然であり、迅速に対応して欲しいとの意見等が出された。



現場視察をする委員（藍住北小学校）

町民の声

迷惑な候補者の連呼

匿名

来年の2月は町会議員の選挙である。選挙戦の最中は憂うつである。候補者の名前を連呼する選挙カーがやってくるからだ。一台が去ってようやく静かになったと思ったら、また次の一団。入った覚えのない候補者の後援会員になっており、投票の「お願い」の電話もかかってくる。朝から晩まで静まることがない。窓を閉め切つても聞こえるある大音量。2月は受験勉強のまっ最中でもあり、病気で寝込んでいる人もいるのだ。自ら足を運んで聞きに行く講演会などとは違い街頭演説や選挙カー移動の際の声は、好むと好まざるとにかかわらず耳に入ってくる。多くは名前を連呼するだけで個性の違いは認められない。生活のリズムを乱すだけの選挙カーでの連

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関するご意見をお寄せ下さい。

投稿規定

- 一、住所・氏名・電話番号を明記
- 二、掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 三、字数は五〇〇字以内
- 四、投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

議会のページ

8月

6日 滋賀県犬上郡町村議
会議長会視察来庁
(議会運営)

11日 議会だより編集委員会
18日 文教常任委員会
21日 板野郡町議会議長会

22日 第3回定例会
27日 議長・副議長合同会
議並びに県・町事業
意見交換会
29日 第4回臨時議会
整備促進協議会
議会運営委員会

10月

1日 藍住町民生委員推薦会
4日 藍住町国際交流協会
設立総会

5日 北小学校運動会
8日 議会運営委員会
10日 議会全員協議会

15日 第十堰建設促進期成
同盟会通常総会
なくせじん肺キャラ
バン
16日 第44回四国地区町村
議会議長会研修会
17日 藍住町農業振興地域
整備促進協議会
18日 第16回全国健康福祉
祭徳島大会「ねんり
んピック2003」
19日 総合開会式
第16回全国健康福祉
祭徳島大会「ねんり
んピック2003」
20日 ゲートボール交流大
会開会式
祭徳島大会「ねんり
んピック2003」
21日 ゲートボール交流大
会閉会式
第58回国民体育大会
秋季大会壮行会

9月

7日 藍住中学校・藍住東
中学校体育祭

8日 文教常任委員会
10日 9月議会開会
15日 議会全員協議会
16日 敬老のつどい
19日 9月議会一般質問
議会運営委員会
9月議会閉会

19日 西小学校運動会
20日 東小学校運動会
21日 南小学校運動会
23日 板野西部青少年補導
センター組合議定会
24日 例会

● 本会議を傍聴しませんか ●

本会議はどなたでも傍聴することが
できます。傍聴は、本会議当日、
先着順に受けつけていますので、議
会事務局の受付までお気軽にお越し
下さい。

なお、傍聴席の定員には限りがあ
りますのでご了承下さい。

● 定例会案内 ●

次の定例会は12月です。

次号は2月に発行します。

お問い合わせ

議会事務局 ☎637・3127



第16回全国健康福祉祭徳島大会「ねんりんピック2003」
ゲートボール交流大会

編集後記

「第16回全国健康福祉祭徳
島大会「ねんりんピック2
003」」が県下で開催さ
れました。本町もゲートボ
ール会場となり、延べ3、
170余名の選手・役員を
お迎えし、年輪を重ねた皆
様の好ゲームが展開、盛大
に行われました。

92歳の現役の選手、他皆
様方のパワー溢れるご活躍
には元気を頂きました。

阿波お遍路のお接待「お
もてなしの心」で歓迎した
2日間、きっと思い出深い
大会として皆様の心に残っ
たのでは・・・

そして、この心が更に町
行政にも活かされることを
願っています。

議会だより

編集委員会

- 委員長 喜田敏夫
- 副委員長 西岡恵子
- 委員 永浜茂樹
- 委員 西谷 修
- 委員 古川義夫